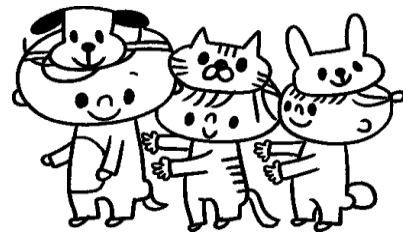


えんちょう先生の

NO17 わくわくだより



去11月15日には恵那市保護者会連合会の11月17日には文化センターにて学校保健研究大会の講演会が行なわれました。連Pの講演会には保護者の皆さんにご協力頂きありがとうございました。どちらも、目の前にいる小さい子ども達の育ちに関する大事なお話でしたので、大切と思う部分をお知らせします。みんなで、子育ての勉強が出来ればと思います。

11/15 東野コミュニティセンターにて

岐阜県保育士、保育所支援センター発達相談員

「こどものやる気スイッチをONにする子育て」

嶺川依利先生

「家の子は〇〇してくれないんです」・・・と言うお父さん、お母さんが増えているこの頃
こどもは大人の思う様に動くものと思いませんか？ だからイライラするのではないですか？
この気持ちの背景には「親の私の方が優れていて子どもは私より劣っている」という思いが隠されています。子どもは人生を共に生きる仲間です。

親の役割はこどもを信頼し困難を乗り越える力を与える事

日本のこどもは他の国々（韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）と比べて「自分自身に満足をしている」と言う子がとても少ないし、「うまくいくかわからない事にも意欲的に取り組もう」とする子も少ないという結果が出ている。

こどもは、自分に自信を持ち、失敗を恐れずにやれる環境でこそやる気にスイッチが入るもの。

子育ての目的＝＊こどもが自分で出来る事を増やす事です。

＊社会に出て、親から巣立っていける様にする事

自立＝身の自立 自律＝自分の心を律したり制御する力をつける

あれもダメ、これもダメと指示を繰り返していたり、無性に誉めているだけでも子どもは育ちません。
家の子には力がある「出来る！」と信じる事。今は出来なくてもその内出来る様になると考えると、子どもは失敗を繰り返しながら自信をつけていくものです。6歳までの子どもは、見守り待つ所と、「それはいけないよ こうしようね」と教えてあげる事が大事。

何で家の子は出来るの？よりどうしたら出来るかな？と考える事が大事です。

「僕は出来る」「私には出来る」「やってみたら出来た」「失敗したけど出来た」そんなこどもの気持ちを共有していく事がこどもには大事です。

やる気スイッチをONにする為の勇気を後押しするのが親の役目ですね。

親も完璧でなくていいんです。失敗したら親だって、謝ったりやり直したりすればいいんですよ。

この講演会には保護者のみなさん、現場で保育する保育教諭も大勢集まり、いい勉強が出来ました。

みんなで考えよう 乳幼児期の子育て！

11/17 恵那市文化センターにて

ジャーナリスト、九州女子短期大学特別客員教授 秋山 千佳先生

「こどもの貧困・虐待・性のリアル

こどものSOSがきこえていますか～」

小中高と大学の保健室取材を9年間続けて来た元新聞記者の秋山先生が、保健室から見えてくる子どもの姿や困難、そして今養護教諭の役割の重要性と学校の連携の大事さについてお話されました。

昔は、保健室に来る子は女子がほとんどだったけど、今は男子も来る子が多い。

デジタル化が進む中、うまく乗っていける子とそれ以上に苦しんでいる子も増えている。

地域にも家庭にも頼れる大人がないと言うこどもが増えている中、教室ではオレオレとやんちゃな男子も保健室に一人来て、「おっばい」と両手を広げるしぐさをする愛情に飢えた子もいる。

又、女子は、出会い系サイトで愛情の飢えを満たす子も・・・

教室では、弱い不安な自分を出せない・・・内申書に響いたり同級生の同調圧力があるから。

保健室に来る時は、「困っている子」だけれど、他の場所では困った子として扱われる場合が多いこども達。

今、人との関係性の貧困がいじめ、不登校、低学力などにも繋がってきている。

養護教諭の役割りがとても大事になっているが、学校内での職員の連携がうまくいってないと、保健室は甘やかしているだけ言う批判も出てくる事も多い。

保健室では素の自分が出せ、話を聞いて貰えるような、手間暇掛けた関わりが大事

こどもの持つ力を信じ、その力が出せるまで待つ。そして、ゆっくり自己肯定感が育める様に寄り添う事が大事な場所である。こどもが自分の力を信じて歩み始める迄には時間が掛かるもの。

学校は、学力をつけるだけの場所ではない。すぐに結果が出る事が求められる時代だが、困難を抱えた子には、もっと大事な役割がある。ケアと教育の両輪でこどもの人生を支える教育が今、求められている。

ポエム

うん

うん

うん

だれにもわからなくて

もらえずにならぬ

どんなにか

つらかったらうん

うんうん

泣くにも泣けず

つらかったらうん

くるしかったらうん

うん

うん

相田あつを

こころをこころに